

174

2020. 10. 18

長崎郵趣

第15回赤十字国際会議記念
木下朋英

第15回赤十字国際会議記念

昭和9年(1934年)10月1日発行

赤十字国際会議とは、戦時活動の指導助言にあたり25名以内のスイス人で構成された赤十字運動の中央組織(赤十字委員会)と平時に於ける活動の中央組織(赤十字連盟/赤十字条約に加盟している各国の赤十字)の2つの中央組織と、各国政府、各国の赤十字社の代表が原則として4年毎に開く会議です。

1867年第1回会議がパリで開催、1930年迄に14回を数え、15回目の1934年東京で開催される事に成り、通信省はこの会議が国際的にも重要な意義を有し平和的使命も有している事から記念切手を発行を決議しました。

切手は内外国用葉書(1銭5厘と6銭)2種と書状用(3銭と10銭)2種の計4種で葉書用は縦型、書状用は横型です。

今回の作品は4種類の切手を製造面と使用面から展開した作品です。



1銭5厘



3銭



6銭



10銭

1銭5厘及び6銭切手のシート構成は、縦5枚X横4枚の20面シート、3銭及び10銭切手のシート構成は、縦4枚X横5枚の20面シート、銘板はいずれも19番切手下部に印刷されています。

原版は凹版印刷ですが、赤十字マークだけは凸版印刷です。上記4種の未使用6B見ても分かりますが、特に1銭5厘の赤十字マークは向かって左側、6銭切手の赤十字マークは上にずれています。

第15回赤十字国際会議記念

昭和9年(1934年)10月1日発行

赤十字国際会議とは、戦時活動の指導助言にあたり25名以内のスイス人で構成された赤十字運動の中央組織(赤十字委員会)と平時に於ける活動の中央組織(赤十字連盟/赤十字条約に加盟している各国の赤十字)の2つの中央組織と、各国政府、各国の赤十字社の代表が原則として4年毎に開く会議です。1867年第1回会議がはじめて開催、1930年迄に4回を数え、15日目の1934年東京で開催される事になり、連日省はこの会議が国際的にも重要な意義を有し平和的使命を有している事から記念切手を発行を決議しました。切手は内外国用業務用(1銭5厘)と書状用(2銭)と10銭の2種の計4種で業務用は縦型、書状用は横型です。今回の作品は4種類の切手を製造面と使用面から展示した作品です。



1銭5厘

3銭



6銭

10銭

1銭5厘及び6銭切手のシート構成は、縦5枚X横4枚の20面シート、3銭及び10銭切手のシート構成は、縦4枚X横5枚の20面シート、銘板はいずれも19番切手下部に印刷されています。

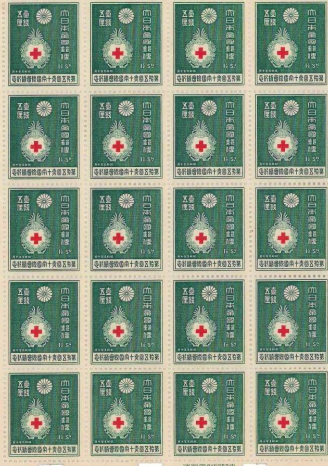
原版は凹版印刷ですが、赤十字マークだけは凸版印刷です。上記4種の未使用68見ても分かりますが、特に1銭5厘の赤十字マークは向かって左側、6銭切手の赤十字マークは上です。

1-2

第15回赤十字国際会議記念

昭和9年(1934年)10月1日発行

記念会議會場十字赤回五拾第



下段のみ目打ち抜けが悪い

目打ちスレ

1銭5厘20面シート 複合型(縦型+単線)目打ち

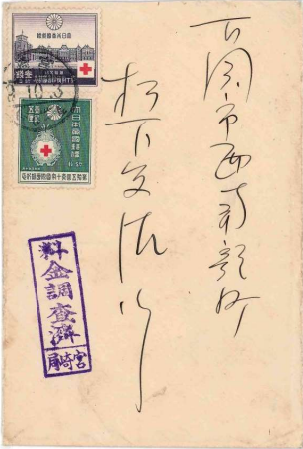
本記念切手は、国内初の耳紙に題字が印刷された20面シートです。

題字に目打ちが掛からないよう3辺に対し備型目打ち、残り辺に単線目打ちが施されました。

上記20面シートも下段目打ちのみ抜けが悪いに加えて上下に変わった部分の目打ちがスレています。

第15回赤十字国際会議記念

昭和9年(1934年)10月1日発行



和文備型宮崎 昭和9年10月3日 料金調査済 宮崎局



タルラク 憲兵分隊 突関

占領比島官業2PSI GAY製 欧文TARLAC 1943年5月6日

5-6

第15回赤十字国際会議記念

昭和9年(1934年)10月1日発行



1934年(昭和9年)10月26日 ドイツ向け印刷物郵便

貼付切手・郵便料金の説明

赤十字国際会議記念1銭5厘横・新大正毛紙(平面版)5厘

基本料金海外宛印刷物2銭

差出局:会議場内特印及び和文備型日(昭和9年10月20日) 初日印



記念押印:会議場内特印昭和9年10月26日及び会場内欧文備型日(1934年10月29日)押印最終日

第15回赤十字国際会議記念

昭和9年(1934年)10月1日発行



欧文書体横紙(1934年10月1日初日印)
1銭5厘切手20面シート下部12枚ブロック

1銭5厘と6銭切手に採用された日本赤十字社の徽章は、赤十字を中央に桐竹鳳凰で囲んだもので、切手には、同社が初めて制定した当時の図様に従って描かれました。本来の赤十字マークは、同じ大きさの正方形5個を組み合わせた形が正しいとされています。

刷色は省令では1色のように示されていますが、切手の中の赤十字マークだけは4種共周囲の図柄とは別に赤色で印刷されており、実際にいすれも2色刷でした。原版は凹版ですが、赤十字マークだけは凸版でした。銘文は「第拾五回赤十字国際会議記念」大日本帝国郵便と篆書体で書かれています。切手の中の国名は、ずっと「日本郵便」となっていますが、ここに「大日本帝国郵便」と言う表現が復活しました。おから軍国主義の風潮がようやく高まろうとしており、あえて大日本帝国の称を復活させたのもこうした風潮と無縁では無いでしょうか。

3-4

第15回赤十字国際会議記念

昭和9年(1934年)10月1日発行



和文書体

和文書体正月印

機械刷



和文書体韓国(晋州)



和文書体田型



和文書体初日印



和文書体韓国(仁川)



外国消(ベルリン)



ハコボ



穿孔(TO)



ハコボ(ピクトリア)



和文書体

第15回赤十字国際会議記念

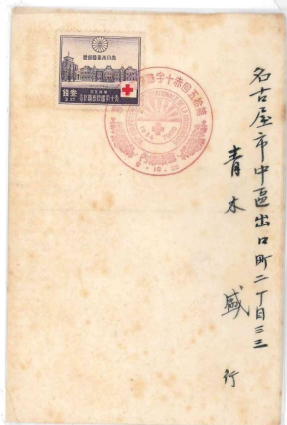
昭和9年(1934年)10月1日発行

会議場内郵便局封筒を使用して差し出した普通郵便物



裏面コピー(70%)

第15回赤十字国際会議場内郵便局

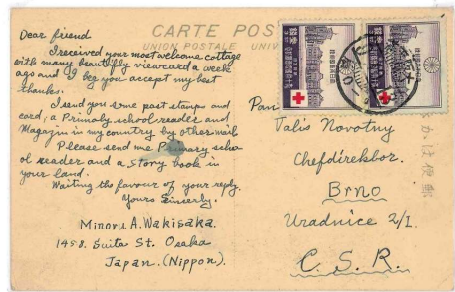


名古屋宛特印会議場内9年10月20日(特印初日印)

第15回赤十字国際会議記念

昭和9年(1934年)10月1日発行

チェコスロバキア共和国/ブルノ宛 絵はがき



大阪天満 和文書体(昭和9年10月13日) → チェコスロバキア共和国/ブルノ
第十五回赤十字国際会議記念 3銭縦P
合計6銭適正料金

7-8

第15回赤十字国際会議記念
昭和9年(1934年)10月1日発行

アメリカ宛
和文櫛型平綴 昭和9年11月22日
裏面着印CHICAGO 1934 DEC 14

貼付切手・郵便料金の説明

第15回赤十字国際会議記念1銭5厘・6銭各田型
第2回国勢調査1銭5厘・新大正毛紙(平面版)5厘
合計32銭
基本料金(国際書状)10銭・重量増6銭(国際書留)16銭



9-10

第15回赤十字国際会議記念

昭和9年(1934年)10月1日発行

ルイスカパー



1935年(昭和10年)4月20日 アメリカ向け船内郵便

貼付切手・郵便料金の説明

第15回赤十字国際会議記念6銭・新大正毛紙1銭・コイル切手1銭5厘
合計10銭(国際郵便書状船便料金)

ルイスカパーとは1865年9月、米国ケンタッキー州に生まれたカール・ルイス氏が1901年横浜に船員として降り立ち写真ビジネスの準備を進めていた時に着目した「絵葉書」から生まれたカパーの事を指します。このカパーの特徴はカシエ(挿絵)をアキボカシ手法で描いている事です。今回展示したカパーには富士山が描かれていますが、ルイスカパーの多くは富士山が多く描かれている為、別名「富士山カパー」とも呼ばれています。カール・ルイス氏は几帳面な性格で育つたと伝えられている様に今回展示したカパーも切手上辺部に水平1列に鉛筆で線が引かれている事からも几帳面さが伺えます。カール・ルイス氏は日米関係悪化の中、愛妻貞子に先立たれますが、米国領事館の帰国勧告も拒否し「老いたる木は移植する事が出来ません。私の最後が来る時迄私はここにいる事でしょう」と決めて敵国人として待たされた後、友人縁者の努力に依り釈放されますが、その後も軟禁状態が続きました。富士山をこよなく愛したカール・ルイス氏は軟禁状態のまま、この世を去ります。1942年昭和17年5月17日没、享年76歳の人生でした。カール・ルイス氏のお墓は、自宅に近い富士山が良く見える大岡の大岡山真光寺に有ります。

第15回赤十字国際会議記念

昭和9年(1934年)10月1日発行



埼玉・白圓 和文櫛型(昭和9年10月22日) → ドイツ
第十五回赤十字国際会議記念 10銭



横浜 吹文櫛型(1935年6月3日) → アメリカ
第十五回赤十字国際会議記念 10銭 田型・風景第1次10銭

13-14

第15回赤十字国際会議記念

昭和9年(1934年)10月1日発行



特印東京(昭和9年10月26日)→中継東京(1934年10月26日)→スイス
第十五回赤十字国際会議記念1銭5厘横P・3銭・6銭・10銭 合計22銭(国際書留・はがき料金22銭)



吹文櫛型東京(1934年10月1日)初印日→裏面着印上海(10月5日)
第十五回赤十字国際会議記念4種 合計20銭5厘(国内書留・3倍重量書状料金)

第15回赤十字国際会議記念

昭和9年(1934年)10月1日発行

船が描かれた風景印押印実運郵便物



風景印/アンカウル
アンカウル(昭和9年11月2日) → スウェーデン
絵はがき 赤十字国際会議記念6銭 通正料金

第15回赤十字国際会議記念

昭和9年(1934年)10月1日発行



ドイツ宛 特印 東京(昭和9年10月23日)
第15回国際会議記念6銭単貼 国際はかき郵便料金6銭



風景印/横浜
横浜(昭和12年1月30日) → アメリカ
封書 赤十字国際会議記念6銭・富士産第1次改色4銭
合計10銭 通正料金

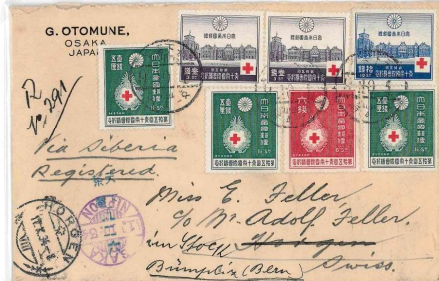


富士産6銭はがきの額面部分を切手で抹消
スイス宛 特印 東京(昭和9年10月27日)
第15回国際会議記念6銭単貼 国際はかき郵便料金6銭

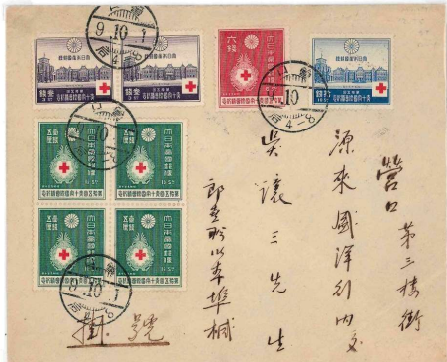
11-12

第15回赤十字国際会議記念

昭和9年(1934年)10月1日発行



天下茶屋 和文郵便(昭和9年10月1日)初日印 → 中継大阪(1934年10月1日) → スイス(HOGEN(1934年10月17日))
第十五回赤十字国際会議記念 1銭5厘3枚・3銭2枚・10銭 合計26銭5厘(書留・書状料金26銭)



窓口(中国) 和文郵便(昭和9年10月1日)初日印 → 中国(窗口)
第十五回赤十字国際会議記念 1銭5厘田票・3銭横P・6銭・10銭

第15回赤十字国際会議記念

昭和9年(1934年)10月1日発行



アメリカ宛 特印 東京(昭和9年10月20日) 初日印
第十五回赤十字国際会議記念 4種完



ドイツ宛 特印 東京(昭和9年10月28日)
第十五回赤十字国際会議記念 4種完

特印押印初日は10月20日で最終日は29日でした。

15-16